

管理番号 46

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	流行している梅毒の菌株についての解析 (献血者における梅毒流行株についての解析)
研究開発期間(西暦)	2023年4月～2025年12月
研究機関名	東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科
研究責任者職氏名	講師 安達英輔

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

梅毒はこの10年間で急速に増加している性感染症です。献血を契機に梅毒が発見された方の血液から、菌の遺伝子を抽出・解析することで、どういう種類の梅毒が広がっているか調べることを目的としています。流行している菌の特徴を調べることで、梅毒の感染経路や流行状況の把握に繋がり、今後の感染対策に活かされることが期待されます。

2 使用する献血血液の種類・情報の項目

献血血液の種類：検査残余検体(全血、血清、血漿)

献血血液の情報：梅毒検査結果

3 共同研究機関及びその研究責任者氏名

《献血血液を使用する共同研究機関》

なし

《献血血液を使用しない共同研究機関》

なし

4 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液のヒト遺伝子解析：行いません。 行います。

《研究方法》

献血血液は、梅毒の検査を全例で行っています。梅毒検査が陽性になった血液から、梅毒の菌の遺伝子を核酸増幅検査であるPCR法を行い増幅し、その菌に特徴的な遺伝子を解析します(MLST法)。梅毒菌の遺伝子情報を元に、流行している株の疫学調査を行います。研究者は日本赤十字社から患者様の年齢、性別などの個人情報を受け取っておらず、個人が特定できない状態で解析を行います。

5 献血血液の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

6 上記5を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号 R050025

本研究に関する問い合わせ先

所属	東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科
担当者	安達英輔

電話	03-344-8111 (内線 75081)
Mail	e-adachi@ims.u-tokyo.ac.jp